

JVC国際協力コンサート2006
第13回大阪公演『メサイア』・第18回東京公演『クリスマス・オラトリオ』

終了報告書

YEAR 2006 JVC BENEFIT CONCERTS
Thirteenth in Osaka and Eighteenth in Tokyo
REPORT



JVCコンサート実行委員会
JVC Concert Committee

■公演詳細

主催: JVCコンサート実行委員会
協力: (特活) 日本国際ボランティアセンター(JVC)
後援: 外務省、豪州大使館、東京都社会福祉協議会、
大阪府社会福祉協議会、カリタス ジャパン
日本キリスト教協議会(NCC)国際関係委員会

2006年度、約50の企業・団体の協力を得て、欧米諸国から招聘した指揮者とソリスト、日本のプロのオーケストラ、及びアマチュアの合唱団が出演するオラトリオ(大阪・東京)の公演を開催し、無事終了しました。

(添付資料: プログラム「JVC国際協力コンサート2006」)

開催日程・会場と来場者数

第13回 大阪公演 ヘンデル『メサイア』
2006年12月9日(土) 午後4時開演
いずみホール
来場者数 約711人(チケット販売770枚)

第18回 東京公演 バッハ『クリスマス・オラトリオ』
2006年12月16日(土) 午後3時開演
昭和女子大学人見記念講堂
来場者数 約1755人(チケット販売1970枚)

出演者

指揮者: ジェフリー・リンク(米国)
ソプラノ: エリッサ・ウィルソン(豪州)
アルト: タニア・フェリス(豪州)
テノール: デイヴィッド・ハミルトン(豪州)
バス: デイヴィッド・セラランダー(豪州)
管弦楽: テレマン室内管弦楽団
合唱団: (大阪)コードリベット・コール
(東京)JVC合唱団、東京アカデミー合唱団

目的とその成果

1. 日本国際ボランティアセンター(JVC)の国際協力活動を支えるための資金調達
- 1000万円の収益を目指して開催された公演です。会計報告は3月末の〆になります。改めてご報告させていただきます。収益はJVCがアジア、中東、アフリカで行う協力活動に充当するほか、大阪での国際理解活動に使用します。
2. 国際協力やボランティア活動への関心を高めること
- 企業への協賛依頼の過程で、より深い理解を求めました。
- 378人(東京270人/大阪108人)の合唱団員が、歌うこととチケット販売を通して、協力活動に参加しました。
- 合唱団員対象にJVCのスタッフが、練習会場、合宿の際に活動紹介を行いました。
- 事務局が計6回、合唱のお知らせとJVCの活動紹介を掲載したニュースレターを発行し、合唱団員に配布しました。
- コンサート会場のボランティアとして、約80人(東京60人/大阪20人)の社会人、学生、主婦が参加しました。
- 会場でJVCの活動写真を展示し、来場者に説明しました。

■Concert Details

Presented by: JVC Concert Committee
Supported by: Japan International Volunteer Center
Benefactors:

- The Ministry of Foreign Affairs
- Australian Embassy
- Tokyo Social Welfare Association
- Osaka Social Welfare Association
- National Christian Council in Japan International Affairs' Committee
- Caritas Japan

The JVC Concert Committee presented two Benefit Concerts “*Messiah*” and “*Christmas Oratorio*” in 2006. The conductor and soloists came from the U.S.A. and Australia and donated their time and talent. (For more details see our program).

Date and Venue:

Thirteenth Annual Osaka Concert:
December 9, 2006 4:00 p.m.
Izumi Hall - 711 attendees
Eighteenth Annual Tokyo Concert:
December 16, 2006 3:00 p.m.
Hitomi Memorial Hall -1755 attendees

Players:

Conductor: Jeffrey Rink
Sop: Elisa Wilson, Alt: Tania Ferris
Ten: David Hamilton, Bas: David Thelander
Orchestra: Telemann Chamber Orchestra
Choir: (Osaka) Quodlibet Chor
(Tokyo) JVC Choir, Tokyo Academy Choir

Purpose and Result:

To raise funds to support JVC's field work
- The net profit was not yet finalized. We will report you the amount after closing the account. Proceeds will support JVC overseas projects and activities for international understanding in Osaka.

To create a greater awareness in Japan of international cooperation and how volunteers working together can make a difference.
- Opportunities to tell about JVC's activities when visiting companies.
- 378 Choir members (Tokyo 270 / Osaka 108) supported the activities by not only singing but also selling many concert tickets.
- Volunteers totally more than 80 (Tokyo 60 / Osaka 20) worked at the concert halls.
- The photos of JVC's activities were exhibited at the hall.

事務局まとめ

■準備段階

今年は、日豪交流年の記念イベントの一つとして開催した。きっかけは合唱団員からの提案だった。新しい企業へのコンタクトができ、この公演を盛り上げていこうという団員の気持ちがありがたかった。

東京公演の演目をはじめて変更し、バッハの『クリスマス・オラトリオ』を演奏した。指導者の「継続合唱団員（毎年解散・募集を行うが、継続して歌ってくださる合唱団員は5割前後になる）の新たなるステップアップになる」という提案により、挑戦してみたが、指導者、合唱団員ともに本当に苦労されていた。5月までは「今年は歌えないかもしれない」という弱気な声をたくさん聞き、暗い表情に、どう支えていいか事務局も悩んだ。しかし、夏の合宿、合同練習、自主練習を経て、自信をつけてきた合唱団員。12月「ようやくここまで来ました。舞台に立てそうです」という晴れやかな団員の顔を見られたときは、私たちも安堵と感謝の気持ちでいっぱいになった。今年はチケット販売が順調で、東京公演は11月に増席（1908席→2230席）した。しかしながら、合唱団員以外への販売呼びかけが弱く、完売にはいたらなかった。一般販売率をあげることは毎年の課題になっている。

■当日

毎年看護師に3～4名来ていただき、ホール内での緊急に備えている。今年は、具合が悪くなったお客様が外に出てこられたが、医療関係者が2名ボランティアで参加していたので、適切な対応ができた。「緊急対応」を万が一のためでなく、あるものとして備える必要性を実感。

日豪交流年の記念イベントとして、協賛企業より豪州ワインを、抽選でお客様（両公演で85本）へ、そして演奏者、当日ボランティアへもプレゼントしていただいた。お客さま、ボランティアから喜び、お礼の声があった。また、公演終了後の打ち上げにもご提供いただき、出演者、豪州大使、合唱団員、JVCボランティア、スタッフが一緒になったの懇親会が大いに盛り上がった。

大きな事故なく、演奏も美しく終了することできた。公演に携わる関係者、支援者のボランティアスピリッツが創り上げるこの公演。JVCのスタッフは、感謝の気持ちをもってこの日を過ごす。

音楽を通しての国際貢献の輪は確実に広がっている、必要とされていると改めて感じられた。

来場者のアンケートより

■大阪公演

- ・前の方の席だったので、空気のふるえを感じ、感涙した。
- ・毎年このコンサートで1年の無事を感謝し、幸せなクリスマスの気分を味わっている。
- ・年に一度は生で聴きたいメサイアです。堪能しました。
最後の長い「アーメン」コーラスを聴き、目が潤み、「きよしこの夜」で、涙が出てきた。
- ・知人が合唱団員になっていることを聞いていたが、こんなに素晴らしいところでやっているとは知らなかった。
- ・クリスマスは、JVCコンサートのメサイアが素晴らしい。
- ・とても感動。仕事漬けの日々にあって、このような「ゆとり」があることを知らされた。本当にありがとうございました。素晴らしい一日でした。
- ・毎年楽しみにしている。JVCで海外にいる友人を思い、皆さまの益々のご活躍を祈っております。

■東京公演

- ・JVCの知人から知らせをいただきました。とても美しいハーモニーと大勢の合唱でありながら、それにオーストラリアからのソリスト4名が指揮者と一体となって迫力のあるコンサートでした。ありがとうございました。一足早く主の降誕の恵をいただきました。平和を祈りつつ、ボランティアの輪のすごさを感じました。
- ・素晴らしい！！の一言です。今年1年の自分を省みながらの1日でした。ありがとうございました。
- ・音楽で人助けができるなら、と思ってきましたが、すてきな年末のイベントとなりよかったです。
- ・年のめくくりの行事として参加しています。
- ・素晴らしい合唱コンサートをさらに継続してくださいね。
- ・素晴らしいコンサートでした。係りの人たちの対応などもとてもよく、気持ちよく聞くことに集中できました。
- ・いつも新鮮で好いです。（最近、支援活動を怠っていましたが、郵便振替送金用紙を送ってください）
- ・クリスマス・オラトリオのあとに聴いた「きよしこの夜」は今までの人生で一番、心にしみた「きよしこの夜」でした。世界で一番祈りに満ちているはずの地が、人の血を吸い続けている現実、戦争の準備が着々と整いつつある日本。無力な自分に暗い日々を送っていましたが、今日はワインまで抽選で当りいただいたのです。大好きな友人と幸福な一日を過ごせました。本当にありがとうございました。

当日の様子@東京公演



豪州大使のスピーチ



↓アルトの女性たち



バスの方々 熱唱！！



聴かせるソリストの歌声



演奏終了 来場者にも拍手を



花束贈呈のとき Elisaが子どもの緊張をほぐす

公演ロビーにて



↑ ↓ JVCコンサートの名物、ロビーバザー。
JVCの活動国の手工芸品、支援団体の
手作りケーキなどが並びます



大阪公演ロビーにて
「孫が合唱団の初舞台でした。記念になり
ます」と、ワインの当選を大喜びしてくだ
さいました（左の女性が当選者）



↓ 50人のワイン当選者全員がちゃんと受け取り
にきてくださいました。



演奏者、裏方、JVC全員が一緒になっての打ち上げ懇親会

豪州大使、ソリスト、指揮者たち
公演後のほっとするひととき。合唱
団員のスピーチに笑顔になります。



合唱団員たちの笑顔、笑顔、笑顔

「本番が今までで一番上手に歌えた！」という声が本当に多く聞かれました。

